

はじめに

あきたは、少子高齢化の加速と総人口の減少という、歴史的な一大転換期にあります。2020年には秋田県の人口が100万人を切り、2040年には秋田県の25市町村のうち大潟村を除くすべての自治体が人口構成で見ると存続が難しくなる予測がされています。また2050年には日本国自体の人口が1億を割ると予測され、我々にはかつて経験したことのない未来が待ち構えています。しかし、怯むことなく目の前の問題を乗り越えていかななくてはなりません。なぜならば、秋田青年会議所は戦後の荒廃に加え目的を喪失した人々が無力感から立ちあがるべく郷土の再建を担うため発足したからです。設立趣意書の中に、「私達は、益々同志的結合を固くし、友情を温め、相互の信頼と切磋琢磨により豊かな社会を創り出すために市民運動の先頭に立って進む」という一文があります。どんな時でも時代を牽引してきたのは、志高き青年会議所であったのです。先人たちが苦難を乗り越え、紡いできた歴史の上に私たちが存在しています。

次は、私たちが未来を切り拓いていく時です。責任世代とは「未来を生きる世代の生存可能性に対して責任を負うこと」とするのならば、私たちはその使命を自覚し、我々の住み暮らす地域が明るい豊かな社会となる運動を行い、新しい日本の経済に貢献する必要があります。決して現実から目を背けず、決して揺らぐことのない根太いあきた実現に向け、今こそ我武者羅に汗をかいて、夢を語り、泥臭く取り組んで行こうではありませんか。

一、未来を語れる network【絆】の育成

まちづくりには「若者・馬鹿者・よそ者」が必要であると言われます。私たちはもっと馬鹿になり、皆が笑ってしまうような壮大な夢を語り、率先して行動することに自信を持つことが、閉塞感を打破する一歩になると私は信じています。未来を語れる仲間が多く存在し、未来に対して多くの夢が出来たのならば、揺るぎない根太いあきた実現への近道になります。未来を語れる絆を育成して参ります。

二、未来へ責任ある選択を行う力の向上

地域に住み暮らす一人ひとりに国や地方自治の方向性を選択する権利が与えられています。民意を政治に反映することは、住み暮らす地域を具体的に明るい豊かな社会実現に進ませる有効手段であります。不偏不党の団体である我々青年会議所だから成し得る考え方、行動力を持って積極的に地域の政治・経済に関与し、頼られる存在になる必要があると考えます。また、地域住民一人ひとりが政治に関心を深め、傍観者になることなく未来へ責任ある選択を行うことを推進することで揺るぎない根太いあきた実現を目指して参ります。

三、守るべき歴史・文化の継承

公益社団法人秋田青年会議所は、2012年公益法人格を取得しました。その際、法人の目的である「明るい豊かな社会実現」を達すべき事業として環境に寄与する事業、青少年の健全な育成を目指す事業を定款に盛り込みました。その背景には、長きに渡り環境及び青少年を対象にしたJC運動を続けてきたという事実があります。時代の状況により、取組む視点や運動は異なりますが、いつの時代も求められた不変の目的があったからだ実感しています。

住み暮らすあきたの風光明媚な環境は、誰しもが永続を願います。子供の笑顔、子供の育つ姿は誰しもが望み、地域に笑顔と活力を与えます。積み重ねた歴史を再認識し、過去の有効的な取り組みを昇華させ、永続的に展開することで根太いあきたを創り上げて参ります。

四、終わりなき市民社会資本構築

市民社会資本（ソーシャルキャピタル）とは、共通の目的を持った人と人のつながりが基盤となるまちづくりのことです。金銭的にも時間的にも大幅に縮減され、さらには安心安全なコミュニティーの構築、郷土愛醸成にもつながるという考え方です。2011年にスタートした秋田醸しまつりも4年の月日が経ちました。多くの団体と協調し、信頼関係を構築した結果として、地域住民に十分に認知され、今では地域ブランドとして確立されるまでになりました。5年目を迎える本年度、確立した地域ブランドを永続的に輝かせるために、市民社会資本の考え方を再認識し、再構築することで「あきたのたから＝秋田醸しまつり」が地域ブランドとして更に地域に根付くことを目指して参ります。

五、「あきた力」活用があきたの未来を創る

人口減少や高齢化により、県内における消費市場は減少すると懸念されています。交流人口を積極的に増やし、外貨を獲得することが求められています。あきたには、ロシア極東地域の港に本州日本海側で一番近い港が存在します。国も日本海シーアンドレール構想を検討しています。あきたに日本とロシアを結ぶハブ的な拠点が実現すれば、あきたの経済、文化の活性化につながると期待されています。官で行える力、民だからこそ出来る力が存在します。官と民が同じ目的、方向性を持ち協働し、力を合わせていくことが必要と考えます。官民一体となり、個の運動を全て協働し、展開する力の向上を目指すことで揺るぎない根太いあきたを創って参ります。

六、第45回秋田ブロック大会主管

公益社団法人日本青年会議所東北地区秋田ブロック協議会2015年度第45回秋田ブロック大会を主管いたします。45年間、切磋琢磨してきた志同じくする県内の仲間に対し、感謝の気持ちで我々の住み暮らすあきたの魅力を存分に発信していきます。また今大会を成功に導くことが、今後の運動への活力、団結力向上に繋がると確信しています。

結びに

私は「人の喜びも悲しみも分かる人になれ」と言われ育てられました。相手の気持ちを理解出来たならば、尊重することが出来たのならば、地域は自然と良くなって行くのではないのでしょうか。世の中には多くの人が存在し、多くの考え方、価値観が存在します。公益社団法人秋田青年会議所は「奉仕・修練・友情」のもと、志を同じうする者の集団であります。我々ならば明るい豊かな社会実現は容易ではないのでしょうか。メンバーが益々同志的結合を固くし、友情を温め、相互の信頼と切磋琢磨によって、揺るぎない根太いあきた実現に向け邁進することを誓います。